

—法政大学 第6回 FDフォーラム—
「ICTを活用した教育支援改革」

12月11日(土)、市ヶ谷キャンパス外濠校舎5階S505教室にて、第6回FDフォーラム「ICTを活用した教育支援改革」を開催しました。

現在、多くの高等教育機関で、情報コミュニケーション技術(Information and Communication Technology:以下ICT)を用いた学習・教育支援が行われており、その成果が報告されつつあります。今後情報伝達媒体が多様化し、情報処理技術が高度化する中で、教育の現場におけるコミュニケーションツールとしての役割等が注目され、新しい取り組みへの検討も活発に行われています。本学におけるICTを用いた教育支援改革は、学生が自ら学ぶ、より良い環境の提供とともに、FD支援の重要課題の一つとして考え、本フォーラムをその一環として位置付けています。本学におけるICTを活用した授業支援について、総合情報センター、情報メディア教育研究センターおよび図書館等の事例紹介をもとに、教育支援や学習環境の向上について、その方向性を検討するために本フォーラムは企画され、このたび開催が実現しました。

浜村彰常務理事(教育開発支援機構長、法学部教授)による開会の挨拶の後、FD推進センター、総合情報センター、情報メディア教育研究センターおよび図書館より話題提供がありました。

坂本旬キャリアデザイン学部教授(FD推進センター学習・教育支援プロジェクト・リーダー)からは「アクティブラーニングとコラボレーション 法政における学習支援改革」、廣瀬克哉法学部教授(総合情報センター所長)からは「Net2010について」、寺脇由紀助手(情報メディア教育研究センター教員)からは「授業支援システムについて」、山鹿砂預子主任(図書館事務部市ヶ谷事務課レファレンス担当)からは「図書館における情報リテラシー教育」と題し、それぞれのテーマについて事例報告がなされました。

パネルディスカッションでは、坂本教授がコーディネーターを、川上忠重FD推進センター長(理工学部教授)が司会進行役を務め、情報コミュニケーション技術に関する来場者からの質疑に基づき、話題提供者と来場者が一体となって、活発な議論が展開されました。

イベント終了後にはボアソナード・タワー25階のスタッフクラブにて情報交換会も開催され、引き続き意見交換が行われました。

第6回FDフォーラムは全国21大学から約70名の参加があり、これからの本学におけるFD推進において、確かな手ごたえを感じるフォーラムとなり、盛況のうちに幕を閉じました。

次回は、2011年3月26日(土)13:00から、市ヶ谷キャンパス外濠校舎にて、第6回FDワークショップ「eポートフォリオの活用方法」の開催を予定しています。